

令和3年度 会報 埼玉県連合教育研究会

令和3年10月15日
埼玉県連合教育研究会
責任者 田中民雄
事務局 〒330-0804
さいたま市大宮区堀の内町1-99
さいたま市立大宮東中学校内
印刷 関東図書株式会社



埼玉県連合教育研究会
会長 田中民雄

会員の皆様には、日ごろ埼玉県連合教育研究会の諸事業にご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

さて、各学校におかれましては、引き続きコロナ禍での子どもたちの健康維持とGIGAスクール構想の実現などの学びの充実に向け、日々研鑽されていることと存じます。

本研究会の各教科等研究団体におきましても、更なる感染症対策を講じ8月中にオンラインにて算数数学教育研究会と特別活動研究会が全国大会を開催し、多くの先生方から充実した研究成果に高い評価をいただくことができました。

また、10月には道徳教育研究会が、11月には学校視聴覚教育連絡協議会と小学校家庭科教育研究会が関東ブロック大会を開催いたします。コロナ禍ではありますが、会員の皆様からは、オンライン等で参加しやすくなったという声もお聞きすることができ、研究成果がより多くの会員の皆様の今後の授業改善に生かされることを期待しております。

今後も、各研究団体でのオンライン等による研究大会や諸会議等が開催されるようになることが見込まれます。このことを受け、本研究会では令和4年度より、教科等研究団体への配分金の予算科目に「ICT運用費」を設け、皆様からの貴重な会費・負担金が、ホームページの開設やオンラインやリモートでの会議等の運用にうまく活用できるようにしたいと思っております。子どもたちへのGIGAスクール構想が進む中、各研究団体に於かれましても、情報共有の有用なツールとして積極的なICTの活用をお願いいたします。

なお、事務局としても、本研究会のホームページに教科等・地域教育研究団体76団体のページを新たに設けました。各研究団体の総会資料や研究集録等のPDFをはじめ研究発表会等の案内、活動写真等も掲載できますので、情報提供用データ等の提供をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本研究会のために、埼玉県教育委員会及びさいたま市教育委員会並びに公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部の皆様には、ご指導、ご支援をいただき心より御礼申し上げます、あいさつといたします。



ホームページ
QRコード

令和3年度 活動方針と重点・努力点

<活動方針>

- 1 未来を切り拓く教育の創造を目指して、着実な教育研究活動を継続し、埼玉県公立小・中・特別支援学校等の教育の充実と発展に努める。
- 2 学習指導要領と埼玉県及びさいたま市等の教育行政施策等を踏まえて、各教育研究団体の特性を生かし、真摯に教育研究活動を推進し、「教育立県・埼玉」の実現に努める。
- 3 郷土埼玉を愛し、持続可能な社会の創り手となる人財の育成を目指して、質の高い教育研究活動を推進し、その実現に努める。

<重点・努力点>

- 1 確かな学力の育成のため、「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた教育研究活動を一層推進する。
- 2 豊かな心と健やかな体を育成し、たくましく生きる力を育む教育研究活動を一層推進する。
- 3 キャリアステージに応じた教員の資質・能力等の向上を図るため、組織的・継続的な教育研究活動を一層推進する。

目次

●	会長あいさつ、活動方針と重点・努力点……	1	●	教科等研究団体等の研究主題・研究内容……	5
	● 令和3年度役員・評議員等名簿……	2		● 地域教育研究団体の取組……	9
	● 組織・運営図……	3		● 事務局だより・研究論文入賞者研究論文の概要…	13
	● 会費・負担金等の流れ……	4		● 令和4年度研究論文募集要領……	16

令和3年度 埼玉県連合教育研究会 役員・評議員等

1. 本部役員等

Table with columns: 役職, 氏名, 所属, 役職, 氏名, 所属. Lists members of the main office including the President, Vice President, and various department heads.

2. 教科等研究団体

Table with columns: No, 研究団体名, 会長名, 所属. Lists 19 research groups across various subjects like Japanese Language, Writing, Social Studies, etc.

3. 地域教育研究団体

Large table with columns: 旧事務所, No, 研究団体名, 会長名, 所属. Lists regional research groups categorized by area: 南部, 北部, 入間, 比企, 秩父, 児玉, 大里, 北埼玉, 埼玉葛.

<令和3年度 学校数 1,227校 会員数 30,433名>

※1 越生班教育研究会【越生町・毛呂山町】
※2 小川班教育研究会【小川町・東秩父村】
※3 菅谷班教育研究会【滑川町・嵐山町】
※4 玉川班教育研究会【鳩山町・ときがわ町】
※5 秩父教育研究会【秩父市・横瀬町・小鹿野町・皆野町・長瀬町】
※6 児玉郡本庄市教育研究会【本庄市・上里町・美里町・神川町】

埼玉県連合教育研究会 組織・運営図

会員 = 30,433名の先生方

全県 1,227校



No.	教科等研究団体19
1	国語
2	書写
3	社会科
4	算数数学
5	理科
6	音楽
7	美術
8	保健体育
9	英語
10	道徳
11	特別活動
12	進路指導・キャリア教育
13	学校視聴覚
14	教育心理・教育相談
15	特別支援
16	学校図書館
17	中学校技術・家庭科
18	小学校家庭科
19	生活科・総合的な学習の時間

正副会長会 6名
 ・会長 1名
 ・副会長 5名

常任理事・理事会 21名
 ・会長 1名
 ・副会長 5名
 ・常任理事 10名<地域教育研究団体>
 ・理事 5名<教科等研究団体>

評議員会 (総会) 82名
 ・会長 1名
 ・副会長 5名 (兼評議員2名)
 ・監事 3名 (兼評議員1名)
 ・常任理事 10名 (兼評議員8名)
 ・理事 5名 (兼評議員5名)
 ・評議員 教科等団体長19名
 地域団体長 55名

活動方針作成委員 8名
 ・会長 1名 ・副会長 2名
 ・常任理事 3名 ・理事 2名

会員 [本年度 30,433名]
 ・公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校
 ・埼玉大学教育学部附属小・中学校
 ・埼玉大学教育学部附属特別支援学校
 ・希望する私立中学校・特別支援学校等
 ・校長 ・副校長 ・教頭 ・主幹教諭
 ・教諭 ・養護教諭

地域教育研究団体55 ※ = 複数市町村で構成

1	埼玉大附属小	30	東松山市
2	埼玉大附属中	31	小川班※
3	さいたま市	32	菅谷班※
4	川口市	33	玉川班※
5	草加市	34	川島
6	蕨市	35	吉見
7	戸田市	36	秩父※
8	志木市	37	児玉郡本庄市※
9	朝霞市	38	熊谷市
10	新座市	39	深谷市
11	和光市	40	寄居町
12	埼玉大特別支援	41	行田市
13	鴻巣市	42	加須市
14	北本市	43	羽生市
15	上尾市	44	春日部市
16	桶川市	45	越谷市
17	伊奈町	46	久喜市
18	川越市	47	三郷市
19	所沢市	48	蓮田市
20	飯能市	49	幸手市
21	日高市	50	八潮市
22	狭山市	51	杉戸町
23	入間市	52	吉川市
24	富士見市	53	松伏町
25	ふじみ野市	54	白岡市
26	坂戸市	55	宮代町
27	鶴ヶ島市	—	入間地区連合
28	越生班※	—	埼玉連合
29	三芳町		

事務局長等研究協議

事務局 4名
 ・事務局長
 ・幹事
 ・会報発行
 ・研究集録発行
 ・研究論文募集
 審査・表彰
 ・講演会

配分金

旅費配当

会費負担金

講演会補助

論文応募表彰

助成補助

助成・補助 → 埼玉県・さいたま市・教育公務員弘済会から

全国関東埼玉大会の開催

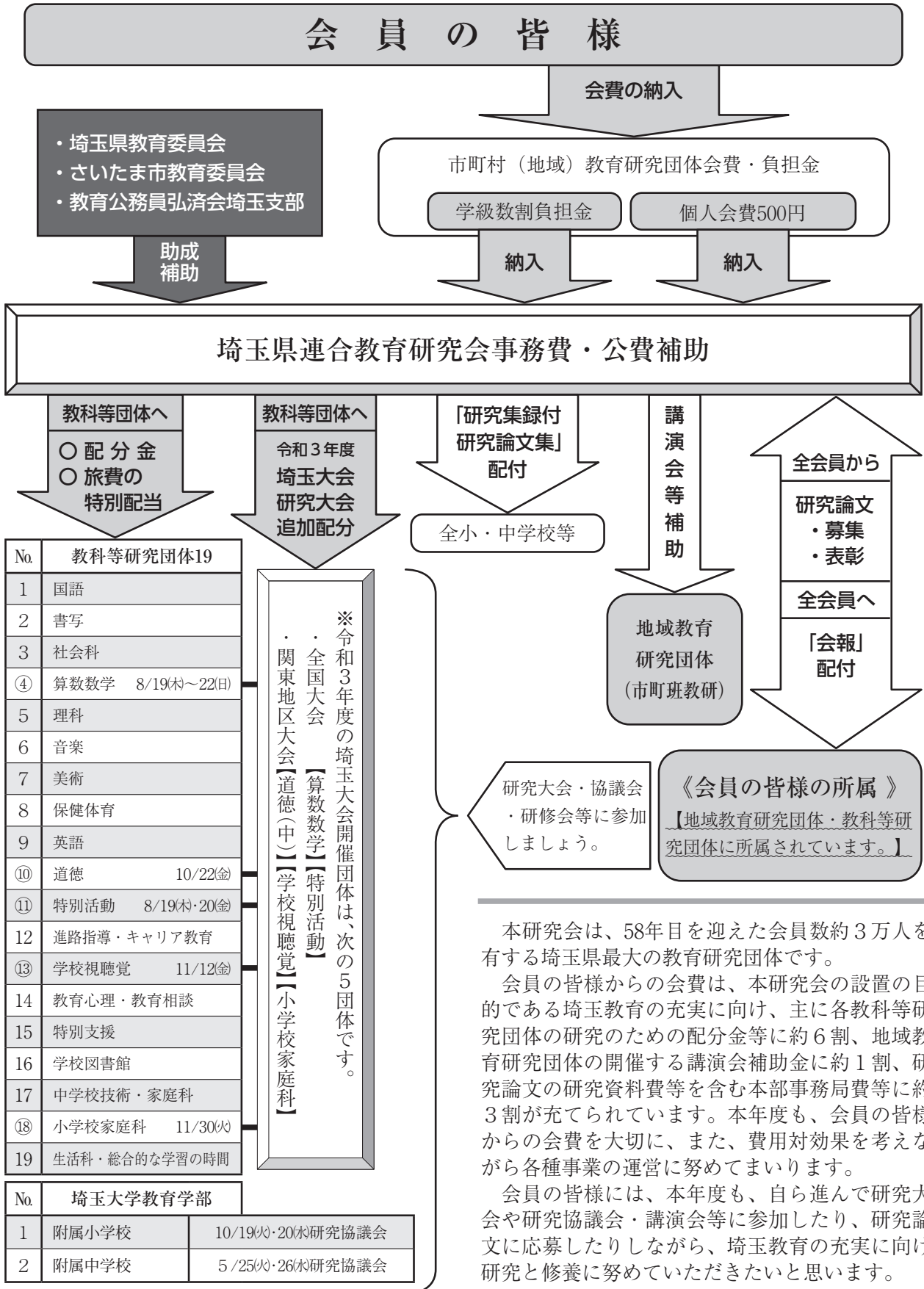
全国関東埼玉大会への参加

教科等研究団体の全国・関東地区教育研究大会の開催予定 (令和3年7月14日現在)

小・中学校別	全国大会 (埼玉大会)		関東地区大会 (埼玉大会)	
	小学校	中学校	小学校	中学校
令和3年度	○算数数学 ○特別活動	○算数数学 ○特別活動	○算数数学 ○学校視聴覚 ○小・家庭科	○算数数学 ○学校視聴覚 ○道徳
令和4年度	—	—	○道徳	—
令和5年度	○特別支援 (言語難聴)	○特別支援 (言語難聴)	○美術 ○学校図書館	○国語 ○社会科 ○美術 ○学校図書館
令和6年度	○英語	○英語	○英語 ○生活・総合	○英語 ○進路・キャリア
令和7年度	—	—	○音楽	○音楽
令和8年度	—	—	○理科	○理科

埼玉県連合教育研究会の各事業は、会員【30,433名】の皆様の会費・負担金及び各種補助金等により運営されています

【会費・負担金等の流れ】



本研究会は、58年目を迎えた会員数約3万人を有する埼玉県最大の教育研究団体です。

会員の皆様からの会費は、本研究会の設置の目的である埼玉教育の充実に向け、主に各教科等研究団体の研究のための配分金等に約6割、地域教育研究団体の開催する講演会補助金に約1割、研究論文の研究資料費等を含む本部事務局費等に約3割が充てられています。本年度も、会員の皆様からの会費を大切に、また、費用対効果を考えながら各種事業の運営に努めてまいります。

会員の皆様には、本年度も、自ら進んで研究大会や研究協議会・講演会等に参加したり、研究論文に応募したりしながら、埼玉教育の充実に向け研究と修養に努めていただきたいと思います。

令和3年度

教科等研究団体及び埼玉大学 教育学部附属小・中学校の 研究主題・研究内容 《21団体》

1. 国語教育

埼玉県国語教育研究会

1 研究主題

「生活に生きて働く国語の能力の育成
をめざす授業の創造」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を生かし、基礎・基本の定着を図るとともに、興味・関心を生かした多様な言語活動を工夫し、児童生徒の学習意欲を高めるための実践的研究を行う。

また、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育むとともに、言語感覚を豊かにするための実践的研究を行う。

研究主題を具現化するために、言語環境をはじめ教材や教具、学習形態や学習方法、言語活動が豊かに整えられ、一人一人のよさを認め、伸ばしていこうとする国語教室こそ、児童生徒の自ら学ぶ意欲を高めることができるものと考え、これらの実践的研究と様々な事業を行う。

2. 書写教育

埼玉県書写教育研究会

1 研究主題

「書字文化を育む書写教育」

2 研究内容

日常に資する技術向上研修と実践的研究を行う。

- (1) 研究発表会・講演会（5月 研究成果の発表）
※本年度は中止。
- (2) 実技研修会（8月 教職員の指導技術向上）
※本年度は中止。
- (3) 授業研究会（11月 授業力向上）
※誌上発表による実施。
- (4) 硬筆展・書きぞめ展の開催（6月・1月）
※両展とも誌上発表による実施。
- (5) 『研究集録』の発行（3月 研究成果の誌上発表）

3. 社会科教育

埼玉県社会科教育研究会

1 研究主題

(小)「社会がわかり、社会にかかわる子供を育てる社会科学学習」

(中)「よりよい社会の創り手を育てる社会科学学習」

小・中学校それぞれの研究主題に向け、社会科教育の今日的課題と本質的課題に対し、これまでの研究成果を生かして研究・実践を行っている。

2 研究内容

- (1) 埼玉県内各所において教材研究や知見を深めることを目的とした「現地研修会」や「小・中学校地域学習研修会」を開催している。
- (2) 授業研究や実践成果の発表を目的とした「埼玉県社会科教育研究会研究発表大会」や「ブロック別授業研究会」などの事業を行っている。
- (3) 「小学校社会科学学習指導法研修会」における実践事例集の作成や「中学校基礎学力調査問作・分析委員会」における指導改善・推進の資料作成などの事業も行い、県内の社会科教育の推進を図ることをねらいとし活動している。

4. 算数・数学教育

埼玉県算数数学教育研究会

1 研究主題

「学ぶ楽しさを味わう算数数学の学習をめざして」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究を深め、指導内容の系統を明らかにし、数学的活動を重視した学習指導を展開する。

そのため、児童生徒の学習意欲を喚起し、数理的な処理のよさや数学的な見方・考え方のよさに気付かせ、算数・数学を活用できるよう学習過程や指導の工夫に努め、指導と評価の一体化を図る。

5. 理科教育

埼玉県理科教育研究会

1 研究主題

「自然を主体的・科学的に探究する
資質・能力の育成」

2 研究内容

昨年度に引き続き、児童生徒が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、根拠に基づく結論を導き出す過程を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するための学習指導の研究及び実践を行う。

ポストコロナ時代を見据えた新たな形の研修をイメージし、本年度は研究委員会や各研究発表会、科学教育振興展覧会について、ウェブ会議システムZoomやGoogle Classroomを活用し、オンライン協議を中心として実施している。これらのように工夫を行い、児

児童生徒の探究の芽を成長させる取組を行っていく。

理事研修会では、各支部の理解を深めるとともに、ホームページの充実を図り、資料の共有や情報伝達を円滑に行っていく。

学習指導の工夫」

「ダンスの特性に応じた効果的な

学習指導の工夫」

「健康で安全な生活を営むための実践力

を育てる保健学習の工夫」

6. 音楽教育

埼玉県音楽教育連盟

1 研究主題

「伝わる音楽」

～音楽を共有し、感性を豊かにする学びを通して～
※本年度、新たに設定する予定

2 研究内容

- (1) 音楽科における思考力・判断力・表現力を育む指導の充実
- (2) 表現領域と鑑賞領域の関連を図る指導の充実
- (3) 我が国の伝統的な音楽の指導の充実

3 感染症拡大防止に係る事業の取止め

- (1) 夏季地区研修会（地区による）
- (2) 埼玉県小・中学校等音楽会
- (3) 各地区音楽会
- (4) 小学校管楽器教育研究会に係る一部事業
- (5) 合唱教育研究会に係る一部事業

7. 図画工作・美術教育

埼玉県美術教育連盟

1 研究主題

「きらめく感性 つくりだす喜び」

～未来をひらく授業づくり 「深い学び」の探求～

2 研究内容

- (1) 受け止めよう 子どもの心
- (2) 育てよう 確かな力
- (3) 深めよう 生き生き授業

3 今後に向けて

令和5年度の関ブロ埼玉大会に向けて、研究部と実行委員会を中心に協議している。

8. 保健体育教育

埼玉県保健体育研究会

1 研究主題

(小) 「運動の特性や魅力を味わわせ、資質・能力を
バランスよく育む授業の工夫」

「健康・安全に関する内容を実践的に
理解させる保健学習の工夫」

(中) 「生徒一人一人を確実に伸ばす
保健体育指導の実践」

2 研究内容

- (小) 「器械運動系」「ボール運動系」「保健」
- (中) 「陸上競技の特性に応じた効果的な

9. 英語科教育

埼玉県英語教育研究会

1 研究主題

「21世紀を逞しく生き抜く人材の育成
を目指した英語教育
～コミュニケーションを大切に児童生徒の育成～」

2 研究内容

例年開催している教員の資質・能力の育成のための教員研究発表会は中止としたが、中学生の日頃の学習の成果発表の場としての英語弁論大会については、新型コロナウイルス感染症対策を施し実施する。

中学校英語学力調査問題については、新学習指導要領に対応させ、次年度から実施する予定である。

10. 道徳教育

埼玉県道徳教育研究会

1 研究主題

「人としての生き方について考えを深め、
よりよく生きる児童生徒を育てる道徳教育の創造」
～学習指導要領が求める道徳教育の実践を通して～

2 研究内容

- (1) 8月「夏季研修会」：教材吟味と指導案作成により、授業実践、指導方法改善について協議を行う。
また、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の浅見 哲也 氏の講演会を実施し理論と実践の研究を深める。(※中止)

- (2) 10月「関東甲信越中学校道徳教育研究大会（埼玉大会）、埼玉県道徳教育研究大会（幸手大会）」：幸手市立幸手中学校を会場に公開授業等を行う。

また、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の飯塚 秀彦 氏の講演会を実施し、授業実践と理論の両面から研鑽を深める。

11. 特別活動

埼玉県特別活動研究会

1 研究主題

「よさや可能性を発揮し合い、
確かな資質・能力を育む特別活動」

2 研究内容

特別活動で育成を目指す資質・能力を「生活や社会における諸問題を見だし、多様な他者と協働しながら解決し、自分の人生や社会を拓いていくことのでき

る力」と捉え、育むための手立てや方法について研究を深める。

研究の内容として、①「年間指導計画、一単位時間等の指導計画の在り方」、②「指導と評価の方法」の2点を中心に研究を進める。

また、①専門委員研究協議会(年3回)、②定期総会、③夏季研究協議会【8月19日(木)・20日(金)全国特別活動研究協議大会共催】、④『研究集録(第61集)』及び「会報『特活』(年3回)」の発行等の活動を通して県内の特別活動の充実・発展を目指す。

12. 進路指導・キャリア教育

埼玉県進路指導・キャリア教育研究会

1 研究主題

「未来を見据え、主体的に生き抜く力を育てるキャリア教育の推進 ～小中一貫を円滑に進めるための協働的な取組を通して～」

2 研究内容

昨年度中止とした25地区進路指導・キャリア教育研究協議会を、本年度は各校の現状に応じ実施する。

研究の方向性を

「キャリア・パスポートの展開」

「小・中学校におけるキャリア教育の推進」

「コロナ禍におけるキャリア教育」等

にシフトし、小・中学校共に機能的なキャリア教育を展開するため、指導事例を中心とした『25地区進路指導・キャリア教育研究協議会研究紀要』をまとめる。

13. 学校視聴覚教育

埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会

《埼玉県学校視聴覚教育連盟》

1 研究主題

「心豊かに、自ら学び、主体的に活動する力を育む教育メディアの活用をめざして」
～楽しく学ぶ、進んで学ぶ、互いに学ぶ～

2 研究内容

教育メディア・ICTを積極的に活用することでプログラミング教育等を研究・実践する。

その中で、児童生徒が「自ら学ぶ力」と「主体的に問題を解決する力」を身に付け、生きる力を育むことをねらいとする。

《埼玉県放送教育研究会》

1 研究主題

「だれもが考える力を育み世界観を広げる
埼玉の放送教育」
～ひろがる つながる 深まる～

2 研究内容

日々の授業や研究活動を充実させ、放送活用を推進

し、関東甲信越放送・視聴覚研究大会埼玉大会、授業研究、放送コンテスト等を通して授業研究等の成果を広く発表していく。

また、GIGAスクール構想にともなうICT活用についての研究を進めていく。

《埼玉県教育機器研究会》

※本年度休会

14. 教育心理・教育相談

埼玉県教育心理・教育相談研究会

1 研究主題

「通常の学級における発達障害児童生徒等の指導支援
～社会性を育むスキル教育の実践と定着～」

2 研究内容

- (1) 通常の学級等において、発達障害を有する児童・生徒をどう理解し、指導支援していくか、先行事例に学び、研究を深め、実践事例等を広める
- (2) 社会性を育むスキル教育の実践と定着を図るため、各地区の事例や情報に基づいた研究を進める。
- (3) 定例の理事会・専門委員会において、教育心理・教育相談の課題等について研究協議を行う。

15. 特別支援教育

埼玉県特別支援教育研究会

1 研究主題

「幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて」

2 研究内容

- (1) 幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達の段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。
- (2) 発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生活に特別な支援を必要とする子に対する指導の在り方を追究する。
- (3) 新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させるとともに、オンラインでの会議・研究協議会等も取り入れ、現代の働き方の中での合理的な研究会の在り方を創造する。

16. 学校図書館教育

埼玉県学校図書館協議会

1 研究主題

「豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造
～主体的・対話的で深い学びを支える
学校図書館教育～」

2 研究内容

- (1) 研究
学習指導要領の趣旨に基づき、学校図書館に関する

る管理運営・利用指導・読書指導・地域連携を中心に、学校・家庭・地域（公立図書館等・図書ボランティア等）との連携を図り、学校の教育課程の展開に寄与する学校図書館を目指し研究を推進する。

(2) 事業

- ・集会 理事会、学校図書館研究大会、表彰式
- ・協議 第1～2回研究協議会、研究部会
- ・研究 学校図書館授業研究会
(越谷市立大相模中学校)
- ・表彰 読感文・読感画コンクール審査、表彰式
- ・刊行 埼玉SLA会報89・90号
感想文・感想画集『真珠』
- ・広報 夏休み・冬休みの推薦図書案内
- ・参加 関東地区学校図書館研究大会茨城大会
(オンライン発表等) 参加

(3) 調査

埼玉県学校図書館協議会沿革史CD-ROM化
(組織・総会資料・真珠。研究紀要等)

17. 技術・家庭科教育

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

1 研究主題

「未来社会を切り拓くための資質・能力を
育成する学習指導の研究」

2 研究内容

本研究会では、学習指導要領の実施に向けて教材研究、実践研究を行ってきた。

本年度も、継続して同じ研究主題に取り組みつつ、教科として育成すべき資質・能力を効率よく育成できる指導方法について研究を進めていく。

また、「評価」に関しても県内全ての教員が適切に行えるよう実践を積み重ね、円滑に移行できるように進めていく。

本年度も、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあるが、各学校にて研究を進め、オンラインツール等を活用して情報共有・発信に努めていく。

18. 小学校家庭科教育

埼玉県小学校家庭科教育研究会

1 研究主題

「学びをつなぎ、家庭生活をよりよくしようと
工夫し実践する児童の育成」

2 研究内容

(1) 「第37回関東甲信越地区小学校家庭科教育研究会埼玉大会」の開催

- ① 研究発表
- ② 映像による公開授業（新座市立新堀小学校）
- ③ 文科省教科調査官 丸山 早苗 氏による全体

指導及び記念講演

- (2) 役員研修会の開催（オンライン）
- (3) 『会報41号』の編集と発行

19. 生活科・総合的な学習の時間教育

埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会

1 研究主題

「思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫」

2 研究内容

生活科における思考力・判断力・表現力、総合的な学習の時間における思考力・判断力・表現力について、考え方を整理する。具体的な実践例を基に、思考力・判断力・表現力の現れについて考察するとともに、児童・生徒が変容したきっかけについて分析をし、教師の適切な支援についても整理したい。

生活科、総合的な学習の時間の授業場면을類型化して、それぞれの場面で求められる思考力・判断力・表現力やその評価についても整理し、思考力・判断力・表現力を高めるための指導方法について研究を進める。

20. 埼玉大学教育学部附属小学校

埼玉大学教育学部附属小学校

1 研究主題

「学びをつくる」(2年次)～自覚と自己決定～

2 研究内容

- (1) 第89回小学校教育研究協議会
令和3年10月19日(火)・20日(水)に予定している。
研究の2年次として、各教科、健康教育の授業動画公開、オンライン協議を行う。
- (2) 校内授業研究会

個人の研究主題を基に、学校及び教科の研究主題を踏まえ、授業を通して理論の検証を試み、感染対策に留意しながら研究協議(質疑・グループ協議等)を行う。

21. 埼玉大学教育学部附属中学校

埼玉大学教育学部附属中学校

1 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた
授業改善による資質・能力の育成

2 研究内容

副題を「～資質・能力を育む指導と評価の一体化の充実～」とし、「思考力、判断力、表現力等を中心とした資質・能力の育成のための単元計画の作成」と「生徒が自らの学習の評価を基に、学習を改善していくことができる形成的評価の実践」を研究の手立てとして、研究実践を行った。

令和3年度

地域教育研究団体の 取組 《15団体／55団体》

1. 蕨市教育研究会

会長 平野 雅代

本研究会は、小学校7校、中学校3校に在籍する249名の教職員で組織され、17の研究部で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、蕨市教職員の資質及び学校教育の向上を図ることを目的とする。

2 主な事業

新型コロナウイルス感染症対応により、例年実施していた活動内容を精査し、安全第一で実施する。

(1) 運営委員会・評議員会（年間4回）

4月・5月の各委員会は書面で実施

(2) 役員選考委員会（書面で実施）

(3) 定期総会・各研究部会（分散開催）

(4) 各研究部の活動（17部会）

① 講習会の開催

② 11月 一斉研修会

研究部ごとに授業研究会・研究協議会を実施・参加

(5) 『研究集録』の作成・発刊

各研究部の一年間の活動概要、成果及び課題をまとめ『研究集録』の発刊

2. 朝霞市教育研究会

会長 嶋 徹

本研究会は、朝霞市内小学校10校、中学校5校に在籍する526名の教職員で組織され、30の主任研修会等で構成されている。

1 本研究会の目的

公教育の理念に基づき、教育に関する研究の深化・進展を図り、会員相互の資質向上と朝霞市教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

(1) 主任研修会

① 授業研究会

② 実技研修会

③ 講習会

④ 講演会

⑤ 教育上の調査研究及び情報交換

(2) 主任会等の活動

① 市内音楽会

② 書きぞめ展

③ なかよし発表会

④ なかよし作品展

⑤ 図工美術展

⑥ 小学校陸上大会

⑦ 小学校球技大会

⑧ 中学校英語弁論暗唱大会

3. 鴻巣市教育研究会

会長 荻野 浩

本会は、鴻巣市立小学校19校、中学校8校に在籍する574名の教職員を会員として組織されている教育研究会である。

1 本研究会の目的

本会では、会員の自主的研究によって教育各般の振興を図るとともに、会員相互の親睦を深めて鴻巣市教育の向上発展に貢献することを目的としている。

2 主な事業

(1) 本部関係

① 主任会（5月）

② 拡大理事会（6月）

(2) 各研究部の活動

① 教育課程及び指導法の研究

② 教科内容の研究及び教育各般の調査

③ 講演会、研究発表会、展覧会、音楽会、競技会等

④ 関係諸機関との連絡連携

⑤ その他本会の目的達成に必要な事業

3 本年度の活動について

各研究部の部長が中心となり、コロナ過を踏まえて授業研究会や研修会、各種行事を実施する予定である。

4. 北本市教育研究会

会長 安田 一也

本研究会は、小学校7校、中学校4校の会員数282名、19の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、日ごろの教育活動の充実を図るとともに、北本市内の教職員の資質・指導力の向上及び様々な教育課題を解決することを目的としている。

2 主な事業

(1) 理事研究協議会

理事会、予算執行説明会、事業報告会、会計監査

(2) 各教科等主任研修会

主任研修会、授業研究会、実技研修会、書きぞめ展、児童生徒科学展、児童生徒美術展、発明創意くふう展、読書感想文コンクール作品選考会、生活発表会、特別支援学級合同作品展

※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ実施する

(3) 北本市教育研究大会

各部の授業研究会を同日開催し、会員が研究したい教科等の授業研究会に参加し、指導力の向上に努める場とする。

※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ実施する

(4) 管外視察研修会（輪番制）

を図ることを目的とする。

2 主な事業

(1) 定期総会及び教育講演会

・5月7日（金） 於：入間市産業文化センター

・演題 「これからの入間市の教育」

・講師 入間市教育委員会教育長 中田 一平 氏

(2) 夏季教育講演会

・8月19日（木） 於：入間市産業文化センター

・演題 「性の多様性 基礎講座」

・講師 ダイバーノン代表 飯田 亮瑠 氏

(3) 各研究部の主な活動（※本年度は一部中止）

① 研究協議会、授業研究会、実技研修会

② 硬筆展、科学展、音楽会、美術展、書きぞめ展、発明創意くふう展、英語弁論大会、特別支援学級作品展

③ 入間地区学力調査、報告会

(4) 研究発表会

・11月5日（金）、12日（金） 於：研究委嘱校

5. 狭山市教育研究会

会長 中 島 敏 也

本研究会は、小学校15校、中学校8校、幼稚園2園に在籍する589名の教職員で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、自主的、創造的な教育研究活動を推進して、職能の向上を図り、本市教育の振興を期することを目的とする。

2 主な事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催方法の変更や中止の事業あり

(1) 三役研究協議会、理事研究協議会

(2) 定期総会

(3) 各教科・教科外等研究部研究協議会

・代表者会 ・現地研修会 ・授業研究会 ・実技研修会 ・テーマ別研修会 ・指導案検討会 等

(4) 各教科・教科外等研究部の主な主催事業

・硬筆展、書きぞめ展 ・科学展 ・音楽会

・図工美術作品展 ・体力向上講演会

・発明創意くふう展 ・英語暗唱弁論大会 等

(5) 委嘱校・園の研究発表会

(6) 『教育研究集録』作成

6. 入間市教育研究会

会長 富 井 弘

本研究会は、小学校16校、中学校11校に在籍する678名の教職員、33部会で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、会員相互の研修と入間市教育の振興と充実

7. 鶴ヶ島市教育研究会

会長 竹 本 文 男

本研究会は、鶴ヶ島市内小学校8校、中学校5校に在籍する教職員319名の会員とし、32の部会で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会では、会員の職能を向上し教育の振興を図ることを目的としている。

2 主な事業

(1) 定期総会・教育講演会

5月（書面評決）

(2) 各部の研究活動

主任研修会（研究協議会、授業研究会など）

主な事業

① 硬筆展

② 科学展

③ 発明創意くふう展

④ 読書感想文審査会

⑤ なかよし作品展

⑥ 小中音楽祭

⑦ 英語弁論大会

(3) 『研究会報』の作成

8. 吉見教育研究会

会長 池 田 智 恵 子

本研究会は、小学校6校、中学校1校の教職員110

名で組織され、32の教科領域等の部会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、吉見町に在職する教職員が主体となり、職能の向上、教育の振興を図り、併せて会員相互の親睦修養を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 定期総会 5月（書面にて開催）
- (2) 教育講演会（※中止）
- (3) 学力向上のための県外視察（※中止）
- (4) 各研究部の活動
 - ① 主任研修会
研究協議会、授業研究会、実技研修会 等
 - ② 主な主催事業
比企地区硬筆展・書きぞめ展、科学展 等

9. 秩父教育研究会

会長 浅見 博 美

本研究会は、秩父地区（秩父市・横瀬町・小鹿野町・皆野町・長瀬町、1市4町）の小学校23校、中学校12校の会員数578名、28の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、本会教職員の資質の向上を図り、地域教育の振興に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 理事研修会
 - 第1回 4月14日（水）
小鹿野町立小鹿野中学校
 - 第2回 7月9日（金）（※中止）
【※教育講演会中止のため】
 - 第3回 令和4年2月4日（金）
- (2) 総会
5月7日（金）長瀬町立長瀬第一小学校代議員による総会・組織づくり
- (3) 各研究部の活動
5月～令和4年2月
各研究部主体による研修会・授業研究会を実施
- (4) 教育講演会（※中止）
8月3日（火）皆野町文化会館

10. 児玉郡本庄市教育研究会

会長 敷 地 昌 明

本研究会は、本庄市、上里町、美里町、神川町の1市3町の小学校24校、中学校8校に在籍する教職員672名の教職員で組織され、30の教科領域等の研究会

で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、児玉郡本庄市内における教育研究会の活動を通して、児玉郡本庄市の小・中学校の教育振興を図ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 新旧本部役員研修会 4月9日（金）
- (2) 組織づくり 4月13日（火）・14日（水）
→実施を要する一部の部会について、研究会員全員または役員のみで各研究会会長校で実施
- (3) 理事研修会及び総会 5月14日（金）→紙面決議
- (4) 部長会議→中止。本年度の事業計画の見直し
- (5) 本部役員研修会 (12月/1月)
- (6) 各研究会の活動
 - ①授業研究会 ②美術展 ③科学展 等を運営
- (7) 『研究集録』の作成

11. 熊谷市教育研究会

会長 宇野 聡 規

本研究会は、熊谷市内の小学校29校、中学校16校に在籍する教職員1,036名の教職員で組織され、33の教科領域等の研究会で構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、「熊谷教育」の発展のため、「知・徳・体のバランスの取れた学力日本一」を目指し、その土台となる「熊谷の子どもたちは、これができます!『4つの実践』と『3減運動』と『スマホ使い方宣言』」を基盤として、教育研究活動の充実・改善を図ることを目的としている。

2 主な事業

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3密を避けるよう各部会の工夫による研修会の開催、また、リモートによる研修会など多様な形で研究を進める。
- (1) 主任研修会・第1回理事研修会 5月6日（木）
 - (2) 令和3年度総会 6月1日（火）
 - (3) 『会報31号・32号』発行 11月中旬・2月中旬
 - (4) 『研究要録』の発行 3月上旬
 - (5) 年間指導計画（小学校：見直し・中学校：作成）
 - (6) 各展覧会・コンクール

12. 加須市教育研究会

会長 矢 島 司

本研究会は、加須市内の小学校22校、中学校8校の教職員596名を会員とし、30の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、幼・小・中学校の学校教育の振興を図るとともに、相互の連携を密にし、職能の向上を図ることを目的としている

2 主な事業

- (1) 会員の研修のための講習会
- (2) 発表会、研修会、視察調査等
- (3) 幼児、児童・生徒の発表会、展覧会、協議会等
- (4) 会員や幼稚園・小学校・中学校の研究助成
- (5) 各種教育関係団体、機関との連携・提携

3 事業内容

- (1) 全員協議会（書面）
- (2) 講習会
- (3) 研究発表会（委嘱校発表）
- (4) 陸上競技大会、硬筆展、科学展、音楽会、美術展、書きぞめ展（通年） ※本年度は一部中止

13. 越谷市教育研究会

会長 木場 真理

本研究会は小学校30校、中学校15校の計45校、1,256名の会員が27の部会に所属している。

1 本研究会の目的

本会は、越谷市内小・中学校教育の振興と教職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 役員研究協議会
- (2) 理事・評議員会
- (3) 総会 5月
- (4) 研究大会・教育講演会 1月
- (5) 各専門部会 年3～5回
 - ・授業研究会 ・講演会 ・実技研修会
 - ・現地研修会 ・児童生徒作品展 ・音楽会
 - ・陸上大会 ・英語弁論大会
 - ・中学校特別支援学級卒業交流会
 等の企画・運営

※ 本年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止を前提としつつ、各校の授業時間等の確保及び教職員の負担軽減と本会の目的を高いレベルで両立させるために、作成した各部会事業実施ガイドラインに沿って活動している。

14. 三郷市教育研究会

会長 廣木 友和

本研究会は、小学校19校、中学校8校の教職員643名を会員とし、26の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、三郷市立小・中学校教育の振興を図るとともに会員相互の資質を高めることを目的とする。

2 事業

- (1) 教育に関する研究調査
- (2) 研究会・講演会等の開催
- (3) 市内各校及び教育関係機関との連絡提携
- (4) その目的達成に必要な事項

3 主な事業内容

- (1) 定期総会・全員研修会 6月
合同研究協議会を総会に充てる
- (2) 研究協議会 年1～2回
幹事・合同・教科等部長
- (3) 主任研修会 年2回
研究協議会・授業研究会・実技研修会等
- (4) 主な主催行事
科学展、発明創意くふう展、書きぞめ展、硬筆展、英語スピーチコンテスト 等

15. 蓮田市教育研究会

会長 設楽 博文

本研究会は、小学校8校、中学校5校に在籍する合計267名の教職員によって構成されている。

1 本研究会の目的

- (1) 蓮田市内教職員の職能向上と教育の振興を計り、地域社会の文化の発展に貢献する。
- (2) 教育の今日的課題に積極的に取り組み、研究成果等について全市的な交流を図り、各校の教育の充実と教育力の向上に資する。

2 主な事業

- (1) 講演会、講習会、研究会、発表会、展覧会、体育会などの開催
- (2) 教育に関する調査研究
- (3) 会員の学術文化に関する研究助成
- (4) 社会教育の普及徹底
- (5) 青少年文化活動の研究振興
- (6) P.T.A及び各種団体との連絡協議

3 主な事業内容

- (1) 理事・部長会 年2回
- (2) 総会
- (3) 全体研修会 年2回
- (4) 各研究部の研究協議会実施（各部年3回）通年

事務局だより

令和3年度本部事業計画

令和3年

- 4月1日(木) 各教育研究団体の役員名簿提出依頼
- 5月11日(火) 令和2年度本部会計監査会
- 6月16日(水) 第1回正副会長会・理事研究協議会
評議員会(総会)・全体研究協議会
令和2年度教育研究論文入賞者表彰式
記念講演会
講師 埼玉大学教育学部附属教育実践
総合センター特任教授 櫻井 博 氏
※【中止・書面議決】
- 7月14日(水) 教科等研究団体事務局長等研究協議
※【書面、メール等により協議】
- 7月15日(木) 『会報(第74号)』原稿執筆依頼
- 9月10日(金) 研究論文応募締め切り
- 10月15日(金) 『会報(第74号)』発行・会員へ配付
- 12月10日(金) 編集委員会
- 12月14日(火) 『研究集録付研究論文集』原稿執筆依頼

令和4年

- 1月25日(火) 「活動方針と重点・努力点」検討依頼
～2月2日(水) (担当副会長・常任理事・理事)
- 2月16日(水) 第2回正副会長会
- 2月24日(水) 教育研究団体活動報告書提出
(日本教育公務員弘済会埼玉支部)
- 3月2日(水) 教科等教育研究団体会計監査会
3日(木) 教科等教育研究団体会計監査会
4日(金) 教科等教育研究団体会計監査会
- 3月10日(木) 『研究集録付研究論文集』発行・配付
- 3月25日(金) 教育研究団体活動報告書提出
(埼玉県教育委員会)

令和3年度全国・関東地区教育研究大会後援

- ◆ 全国教育研究発表大会後援 【2団体】
 - 埼玉県算数数学教育研究会 8月19日(木)～
 - 埼玉県特別活動研究会 8月19日(木)～
- ◆ 関東地区教育研究発表大会後援 【3団体】
 - 埼玉県道德教育研究会(中学校) 10月22日(金)
 - 埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会 11月12日(金)
 - 埼玉県小学校家庭科教育研究会 11月30日(火)

令和4年度全国・関東地区教育研究大会後援予定

- ◆ 全国教育研究発表大会後援 【0団体】
- ◆ 関東地区教育研究発表大会後援 【1団体】
 - 埼玉県道德教育研究会(小学校)

『研究集録付研究論文集』原稿執筆研究団体

本会は、毎年3月に、『研究集録付研究論文集』を発行し、県内全小・中・特別支援学校等へ配付しています。原稿執筆については、教科等研究団体及び地域教育研究団体並びに研究論文入賞者等に原稿執筆のご協力をいただいています。教科等研究団体には毎年、地域教育研究団体には4年に1度執筆をお願いしています。なお、旧教育事務所の秩父地区、児玉地区、大里地区、北埼玉地区には、市町村の合併により、変則的に原稿の執筆を依頼しています。令和3年度は、下記の17地域教育研究団体に原稿執筆をお願いいたします。会員の皆様には、所属の研究団体はもちろんですが、他の研究団体の研究及び活動内容等についても是非、ご覧いただき、各研究団体の今後の事業の充実を図っていただければと思います。

【本会ホームページでもご覧いただけます。】

被表彰

令和3年度「身体障害者福祉のための第63回埼玉県児童生徒美術展覧会」において、埼玉県連合教育研究会会長賞を、次の児童・生徒さんが受賞されました。

おめでとうございます。

- 川島町立中山小学校 第1学年
久保田 陽晴 さん

作品名 『にげろ! うしだ!』

- 入間市立西武中学校 第3学年
浅沼 舞 さん

作品名 『来る日の御伽噺』

- ①川口市教育研究会
- ②戸田市教育研究会
- ③和光市教育研究会
- ④上尾市教育研究会
- ⑤川越市教育研究会
- ⑥富士見市教育研究会
- ⑦坂戸市教育研究会
- ⑧三芳町教育研究会
- ⑨小川班教育研究会
- ⑩菅谷班教育研究会
- ⑪秩父教育研究会
- ⑫児玉郡本庄市教育研究会
- ⑬深谷市教育研究会
- ⑭行田市教育研究会
- ⑮久喜市教育研究会
- ⑯幸手市教育研究会
- ⑰杉戸町教育研究会

※12月中旬に原稿執筆依頼文を送ります。

令和2年度研究論文入賞者・入賞校 研究論文の概要

● 研究主題

『児童の運動有能感を高め 技能成果を保障する特別支援学級における体育授業カリキュラムの開発』

【体育】

坂戸市立南小学校 教頭 萩原 雄磨

1 研究の概要

特別支援学級の教育課程は、学習指導要領を原則として編成され、必要な場合は、特別支援学校の要領を参考としながら、「特別の教育課程」を編成することができる。

埼玉県では、「埼玉県特別支援教育教育課程編成要領」が作成され、各教科等の学びの課題への困難さに対する指導の工夫の意図や手立てを具体的に示すことの大切さが述べられている。

こうした中、各校では、「教育支援プランA・B」といった個々のニーズに応じたきめ細かな支援計画や全教科についての指導計画を作成し、授業カリキュラムの充実を図っている。

しかし、体育科では、児童の技能差等によって、授業

づくりの困難さが指摘され、有能性の高い授業モデルの提示が求められている。

以上のことから、本研究では、筆者の先行研究（通常学級の体育授業カリキュラム）を生かし、特別支援学級における体育授業カリキュラムを開発することで、児童の運動有能感を高め、技能の習得を図ることが極めて重要であると考え、実践的研究を行った。

2 研究の成果と課題

特別支援学級における体育授業カリキュラムを開発し、実践を積み重ねることで、児童の運動有能感が高まり、技能成果を確実に保障することができた。

また、児童の変容や教師及び有識者の意見から、体育授業カリキュラムは効果的であったと結論付ける。

● 研究主題

『カリキュラム・マネジメントで児童の資質・能力をつぐむ 未来のカタチ ～総合的な学習の時間における創造性を育むPBLの単元開発と実践研究を通して～』

【総合的な学習の時間】

戸田市立戸田第二小学校 主幹教諭 黒田 龍正

1 研究の概要

Society5.0や人工知能等、先端技術の高度化により、先が読めない非連続性の時代となることが明確である。今後起こる様々な課題に対して「創造的思考ができること」はこれからの時代において育成すべき資質・能力の一つである。その資質・能力の育成にせまるため、カリキュラム・マネジメントの視点とPBLの実践で研究した。

手立てとして、①環境問題をテーマとした単元開発における工夫、②思考ツールの活用による教科横断的な学びの推進、③産官学民との連携によるPBL、④ルーブリックによる自己評価の4点を挙げた。学習指導要領でも示

されている社会に開かれた教育課程として、PBLの実践研究により、教科等横断的な視点から資質・能力の育成を目指した。また、「ホンモノ」と「リアル」につながることで、主体的に学び、それを生かした創造性のある思考ができるよう学習活動を工夫した。

2 研究の成果と課題

児童への質問紙調査から、学習活動の工夫による主体的な学びの促進により、創造性を育むことができたといえる。

今後は、児童の伸びや変容を可視化、蓄積することで、個別最適化された学びにつなげていく必要があると考えている。

● 研究主題

『主体的・対話的で深い学びの視点からの理科の授業改善 ～「か・が・く」をキーワードに～』

【理科】

埼玉県立伊奈学園中学校 教諭 井形 哲志

1 研究の概要

本研究は、新学習指導要領で育成を目指す資質・能力を育むため、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行ったものである。

先行研究により、「か・が・く」をキーワードに抽出された7つの方策を1年間にわたり実践した結果、児童の理科に対する意識は、全国学力・学習状況調査の全国平均を超え、事前調査に比べ大きく肯定的回答が増加した。

2 研究の成果と課題

今回、「か・が・く」をテーマに授業を計画・実践するように試みたことで、児童の学びが「主体的・対話的で深い学び」になるように試みた。

事後調査において、全ての設問で全国平均を上回る肯定的回答が得られた。しかも、多くの設問において事前調査より25%以上肯定的回答が上昇したことが成果と言える。

「か・が・く」をキーワードに本実践の手立てを実践することで、主体的・対話的で深い学びの視点からの理科の授業改善が図れたと考える。

今後の課題としては、各質問項目がどのような手立てと対応していたのか、詳細な分析が求められる。

また、本研究は小学校での実践によるもので、中学校においても、同様の効果があるのかどうかは今後の課題と言える。

令和元年度研究論文入賞者 研究論文の概要

● 研究主題

『わかる・できる・かかわることが保障された体育授業の実践 ～運動技能の向上と主体的に学び・豊かに関わり合う姿を目指して～』

【体育】

さいたま市立大久保東小学校 教諭 藤井 諒紀

1 研究の概要

研究主題に沿って「わかる」「できる」「かかわる」をそれぞれ保障する手立てを講じた授業実践に取り組んだ。

「わかる」に関しては、「毎時間の明確な発問計画」「具体的な掲示物」「ボールゲームにおける具体的な状況設定と思考場面の確保」、

「できる」に関しては、「パワーアップタイムの充実」「児童の運動課題に応じた自校体操の開発」、

「かかわる」に関しては、「できた実感を得られる教材教具の開発」「関わり合いのための具体的な言葉の例示」

「ICTの活用による自己評価、相互評価」を取り入れることで、児童の運動技能と主体的に学ぶ姿を目指した。

2 研究の成果(○)と課題(▲)

○形成的授業評価やティーボールの打運動の技能分析等の結果の向上から一定の成果が見られた。

▲分析の測定が自分一人であったため、客観性のある分析になっていなかった。

▲数値の向上のみならず、質の向上にも目を向けていく必要があった。

● 研究主題

『社会とつながりを考え続ける児童の育成』

【社会科】

代表 川口市立鳩ヶ谷小学校 教諭 田崎 美奈

1 研究の概要

急速な社会の変化に伴い、予測が困難な時代に生きる児童は、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力が求められている。

しかし、「自分の判断や行動がよりよい社会づくりにつながる」という意識が他国に比べて低いことが指摘されている。

そのため、生涯にわたり、学習したことと自分たちの関連や、よりよい社会をつくるための方法、つまり社会とのつながりを考え続けることが必要である。

そこで本研究では、社会認識を形成する社会が「わかる」学習、社会認識を生かして社会参画する社会に「か

かわる」学習の双方を展開することで、社会とのつながりを考える児童が育成できるのではないかと考え、授業実践を行った。

2 研究の成果と課題

アンケート結果より、児童の社会とかかわろうとする意識が高まっていることから、社会が「わかる」学習や、社会に「かかわる」学習を行うことで、社会とのつながりを考え続けるための素地ができたと言える。

社会とのつながりを考え続けるためには、系統的かつ継続的な学びの接続が必要である。

それが将来の社会参画へつながっていくと考える。

● 研究主題

『地域を誇り大切に思う心情を育む総合的な学習について ～塙保己一先生に関わる4年間を通したカリキュラム再編成を通して～』

【総合的な学習の時間】

代表 本庄市立金屋小学校 校長 諏訪 慎一

1 研究の概要

本校の学区には埼玉県三偉人の一人、塙保己一翁の生家があり、塙先生を慕う人が多く住んでいる。この地の利を活かし、塙先生を中心に扱う学習を3学年から6学年までの4年間を貫いて進めることで、塙先生や地域を誇りに思う児童を育てることを目途に、総合的な学習の時間のカリキュラムの再編成を中心とした研究を行った。

3学年「私たちの町の塙保己一先生」、4学年「視覚障害のある塙保己一先生」、5学年「日本の偉人 塙保己一先生」、6学年「塙保己一先生を支えた人々」とテーマを決めた。

また、児童が主体的、探求的に学習を進められるよう

塙先生ゆかりの地域の方や専門家との交流、ゆかりの場所を訪問するフィールドワーク、関係機関と連携した体験活動、研究発表などを学習計画に組み入れた。

2 研究の成果と課題

児童は、塙先生を慕う地域や専門家の方々との出会いを通じ、塙先生の偉大さを実感した。

また、自分たちで課題を見付け探求したことを発表し評価してもらえたことは、児童の探求的な学習をより主体的なものとした。

児童の興味・関心や探求心をさらに高めるために、教科等横断的な視点を積極的に取り入れ、すべての教科の年間指導計画を調整するなどの工夫が必要である。

令和4年度 研究論文募集要領

埼玉県連合教育研究会

研究論文を下記の要領で募集いたします。何とぞ奮ってご応募ください。

記

1 目的

日々の教育実践の中から生まれた研究会員の皆様から募集し、これを広く発表することによって本県教育の振興に資する。

2 募集内容

教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、進路指導・キャリア教育、視聴覚教育、教育心理・教育相談、特別支援教育、学校図書館教育等の児童生徒に直接かかわる実践的教育研究として、どのように計画し、仮説を立て実践し、さらに、その結果をどのように評価し、今後の教育実践にどう発展させるか等の研究であることとします。

3 応募資格

応募者は、県内の公立小・中学校に勤務する教員(会員)の個人及びグループの研究(学校としての研究も含む)であることとします。

4 応募規程

原稿の書式は、A4判縦長・横書き、横24字×縦46行×2段組で、パソコン入力(Word)により、4～6枚以内(写真、図表を含む)とし、文体は常体(「である」体)を原則とします。

また、研究論文には「表紙」を付け、その上に「応募票」を添付してください。

「表紙」には、①題名 ②氏名(グループ代表者名) ③職名 ④勤務校を記入してください。

5 応募票

「応募票」は、ホームページの各種提出書類の「研究論文応募票」からダウンロードしてください。

「応募票」の電子データを希望される方は、下記電話・E-mailにて事務局まで申し出てください。

「応募票」は、「個人研究」・「グループ研究」・「学校研究」別に「表紙」に添付してください。

6 応募上の留意点

研究論文は、紙上未発表のものに限ります。
応募原稿は、返却しませんので、あらかじめご了承ください。

7 原稿等の提出

令和4年9月9日(金) 必着
【令和3年度は9月10日(金)に締め切りました。】
「応募票」及び論文原稿の提出については、下記事務局へ電子メールでの送付も併せてお願いします。

8 審査結果

審査結果は、令和4年12月中旬に各応募者に書面にて通知します。

9 表彰等

最優秀賞・入選・佳作等に選ばれた研究論文は、令和4年度『研究集録付研究論文集』及びホームページ

令和2年度研究論文入賞者等

<最優秀賞> 《個人研究》

児童の運動有能感を高め 技能成果を保障する特別支援学級における体育授業カリキュラムの開発 【体育】
坂戸市立南小学校 教頭 萩原 雄磨

<入 選> 《個人研究》

カリキュラム・マネジメントで児童の資質・能力をつむぐ 未来のカタチ ～総合的な学習の時間における創造性を育むPBLの単元開発と実践研究を通して～ 【総合的な学習の時間】
戸田市立戸田第二小学校 教諭 黒田 龍正

<入 選> 《個人研究》

主体的・対話的で深い学びの視点からの理科の授業改善 ～「か・が・く」をキーワードに～ 【理科】
埼玉県立伊奈学園中学校 教諭 井形 哲志

<佳 作> 《個人研究》

わかる・できる・かかわることが保障された体育授業の実践 ～運動技能の向上と主体的に学び・豊かに関わり合う姿を目指して～ 【体育】
さいたま市立大久保東小学校 教諭 藤井 諒紀

<佳 作> 《学校研究》

社会とのつながりを考え続ける児童の育成 【社会科】
代表 川口市立鳩ヶ谷小学校 教諭 田崎 美奈

<佳 作> 《学校研究》

地域を誇り大切に思う心情を育む総合的な学習について ～塙保己一先生に関わる4年間を通じたカリキュラム再編成を通して～ 【総合的な学習の時間】
代表 本庄市立金屋小学校 校長 諏訪 慎一

への掲載を行い、入賞者には、本会評議員会(総会)後の入賞者表彰式にて表彰を行います。

なお、研究資料費として入選論文には7万円(最優秀賞は10万円)、佳作論文には5万円、選外の応募者にも薄謝を進呈します。

また、教職経験10年未満の方を対象に新人奨励賞(3万円)を設けています。

10 審査員

本部役員及び編集委員

11 応募先・問い合わせ先

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-99
さいたま市立大宮東中学校内

埼玉県連合教育研究会事務局

TEL 048-641-0808 FAX 048-645-1922
E-mail saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp
ホームページURL <https://sairenkyou.jp/>